

チャレンジタイム（総合的な学習の時間）での取組

- 地域のお年寄りから学ぶ -

明戸小学校

1 単元名 「昔の明戸へタイムスリップ」 第3・4学年

2 単元の目標

- ・明戸の昔の様子について興味、関心をもって進んで調べることができるようにする。
- ・お年寄りの方に進んで話を聞きに行ったり、教えてもらう中で、よりいっそう地域の方との交流を深めることができるようにする。
- ・一人一人が活動の目的をしっかりとをもって、協力して調べ学習ができるようにする。
- ・身近なメディアを進んで利用し、情報の収集や整理、発表に、効果的に活用できるようにする。

3 指導計画の概要

10月	11月	12月	1月	2/7
ふれる つかむ ・地域のお年寄りから昔の明戸の様子を聞く ・研究テーマを考える 決定 グルーピング	しらべる ・実際に現地に行ったり、人に聞いて調査、材料集めをする計画をたてる。 取材をする (インタビュー、デジカメ、実演を含めての取材)	まとめる ・集めた情報の整理、検討をする ・発表するための資料づくりをする(紙面で、コンピュータで) ・作業、発表内容の分担をして資料の確認、練習をする。		発表会

4 情報機器活用の意図・情報教育の視点

二学期からコンピュータの整備がされ、デジカメの台数やコンピュータのソフトが充実したことで、課題をつかむ段階から、まとめ・発表まで積極的に機器を活用していこうと考えた。最初は、地域のお年寄りから昔の話を聞くことが中心であったが、学校の歴史等については、あらかじめコンピュータに入れておいた資料をホームページ感覚で見られるようにした。調べる段階では20台のデジタルカメラをフルに活用し、昔の道具や農具、話を聞いている様子などを撮影し、発表のための貴重な資料づくりができた。そのまま印刷をして模造紙にはったり、プレゼンテーションソフト(「はっぴょう名人」)に写真をはって道具の説明を書いたり、自分たちの感想を書き加えて発表資料を作ったりした。発表会の時には、コンピュータ画面の発表だけでなく、ペープサートや実演・実物による発表もまじえて、意欲的に発表することができた。

利用した機器及びソフト

- ・デジカメ20台
- ・一太郎スマイル
- ・はっぴょう名人
- ・プロジェクター
- ・8ミリビデオカメラ
- ・ノートパソコン画面出力用のテレビ



5 研究の成果と課題

- ・地域のお年寄りや年輩の方からお話を聞く機会がふえたことで、自分たちが住んでいる地域のよさを再発見し、お年寄りの方との交流も深めることができた。
- ・デジカメの台数が増え、グループや個人で同時に利用できたことで、操作にもなれ、意欲的に資料集めを行うことができた。
- ・プレゼンテーションソフトの効果を身をもって体験することができた。「はっぴょう名人」が大変有効であった。(まとめの終わり頃には、写真や文字を編集できるようになった)
- ・コンピュータのソフトが新しくなったことで慣れるまでに時間がかかってしまった。
- ・地域の方や家の方の協力によって、子どもたちの学習を満足させることができたが、教師側からの事前の連絡がうまくできず、訪問する時間や内容の確認が十分でないこともあった。
- ・3・4年生(88名)全員での活動だったため、コンピュータ室の利用等で限られた人数・メンバーとなってしまった。(3年生は紙面で4年生はコンピュータで...という分担になってしまった)

6 授業実践概要 (30 / 32)

学 習 活 動	支 援 と 評 価	備 考	時間
1 ビデオメールを見る。 2 本時のねらいを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館長さんから応援メッセージを見ることで活動意欲が高まるようにする。(T 3) ・本時の活動の課題と目標を確認する(T 1) 	プロジェクター-8ミリビデオ 課題カード よいとこさがしカード	8分
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>『昔の明戸へタイムスリップ』明戸のよさを大発見！ 大...大きな声でわかりやすく発表しよう！ 発...発表する時はみんなで協力をして！ 見...見たり、聞いたりする時はしんげんに！</p> </div>			
3 発表する時や聞く時の約束を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・発表時間は約3分～4分。 ・前半7班、後半7班でそれぞれ30分ずつ。 ・発表を聞いてからカードに記入して移動する 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表時間の確認する。(約3分～4分) ・発表を聞く時の約束を確認する。(T 2) ・発表資料やコンピュータの操作確認をする ・発表しているグループでも手があいている時には、他の発表を見に行ってもよいが、発表の順番が守れるようにする。 ・発表が見学できなかった場合には、後でコンピュータや資料で知ることができることを確認する。 ・時間内にできるだけ多くの発表が聞けるようにする。 	発表メモ 発表資料(各班) ノートパソコン(7台) テレビ4台	30分×2
4 グループごとに分かれて前半の部の発表をする。 前半... 1.3.5.7.9.11.13 班発表 後半... 2.4.6.8.10.12.14 班発表	<ul style="list-style-type: none"> ・発表が聞きやすくなるように発表する。 ・時間の確認をしながら、交代の合図をする。 ・児童の様子によって途中休憩を入れることも考慮する。 	担当... T3(1班~5班) T1(6班~10班) T2(11班~14班) 評わかりやすく発表できた児童を認め称賛する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>グループ別発表計画 別紙</p> </div>			
5 本時のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・感想発表(代表3名) ・先生の話聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・次時の活動について知る。「すいとんパーティーについて」 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生1人、3年生1人の発表者の確認。 ・本時の目標が達成できた点(よかったこと)を具体的に評価し、活動の達成感を味わえるようにする。(T 1) ・マビカで撮影した活動の様子も交えて。 ・目的をもってしっかりと発表を聞いてきた児童を認め評価する。 ・活動意欲の高まるがもてるようにする。(T 3) 	マビカ プロジェクター	10分

発表会の様子

(昔の道具について)



(昔の食べ物について)



(魚のとり方)
今と昔

